

講座生募集

てす わし すぎはらがみ ことはじ こうぎ 手漉き和紙「杉原紙」事始め講座

【杉原紙とは】

鎌倉時代には幕府の公用紙に用いられ、室町時代中期からは広く一般の庶民にも使われるようになり、その名は全国に広まりました。江戸時代半ばには、浮世絵、版画を始め庶民の日常生活にも広く使われました。

その後、機械漉きの技術が普及し、一時は紙漉きは途絶えましたが、杉原紙研究所を設立し、伝統復活に成功しました。



- 杉原紙の入門体験講座を年5回開催します。
- 参加可能な講座のみでも結構です。
- 受講料は無料です。
(クラフト作成講座の材料代、紙漉き体験講座の体験料は必要。)

- 第1回：「技術」を学ぶ講座 7月7日（土）10：00～12：00（杉原紙研究所）
- 第2回：「歴史」を学ぶ講座 9月8日（土）10：00～12：00（那珂ふれあい館）
- 第3回：クラフト作成講座 10月中旬
- 第4回：「本式紙漉き」体験講座 12月上旬
- 第5回：「楮蒸し」「楮の皮むき」など作業見学や体験 1月下旬

※日程や内容については、変更になる場合があります。

お問い合わせ・ご連絡先

〒677-0105

兵庫県多可郡多可町八千代区下村316-2
八千代北仮本庁舎

ひょうごけんたかぐんたかちょうやくば

兵庫県多可郡多可町役場 商工観光課

電話 0795-32-4779